

ニホンザルの生態と被害防除

まずはニホンザルを知る



身体能力

- ・ 霊長目より強い。
- ・ 木に登れ、電線でも登れる。
- ・ 4足なので大が移動できない急斜面も移動できる。
- ・ 前足で物をつかんで歩ける。
- ・ 2mくらいはその場でジャンプできる。
- ・ 20cmのスキ間はゆうゆうすり抜ける。(頭が通ればOK)
- ・ オーバースローで物を投げることは非常に難しい。
- ・ 持ち上げるは意外と苦手

ニホンザルの生態

- ・ 大きさ 頭胴長：♂55cm前後、♀52cm前後
 - ・ 体重：♂10~18kg、♀8~16kg
 - ・ 寿命 20歳程度。
 - ・ 初産 野生（5~6歳以上）、餌付（4~5歳）
 - ・ 出産間隔
 - 野生のものは2年以上
 - 栄養状態がよければ毎年出産（農地に依存）
- (被害を与えているサルほど増えやすい)

ニホンザルの行動

- ・ オス・メス・コドモを含んだ群れで生活する。
- ・ 群れごとに一定の行動域を持っている。
- ・ 野生の群れでは、食べ物の取り合いはしない。
- ・ オスは、オトナになる（4歳頃から8歳頃）と群れを離れる（ハナレザル）
- ・ 群れを離れたオスは、単独またグループで動く。
- ・ ハナレザルは、他の群れに加入する。
- ・ メスは、群れを離れることはない。
- ・ 個体ごとの力関係（順位）はオス、メスともにある。
- ・ 群の中心は群から離れないメスザルたち
- ・ さる山のような群を統率するボスザルは存在しない
- ・ 決まった巢やねぐらを持たない

ニホンザルの食べ物

- ・ 植物食の強い雑食性
- ・ 木イチゴ、広葉樹などの果実、樹木の種子、若葉、樹皮、冬芽、ササ、タケノコなどの植物質の他、サワガニ、昆虫類なども採食する。

人間の作る作物は、人間と味覚が似ているため、サルにとっても美味しい。

食物リスト

ササ	クローバー	タンポポ	オオヤマザク
クリ	コナラ	オニグルミ	モミジイチゴ
ミズナラ	クワ	ミズキ	カスミザクラ
ニワトコ	マタタビ	ウワミズザクラ	コシアブラ
ケヤキ	リョウブ	キノコ類	タケノコ
スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ
ミズナラ	昆虫類	など	
イネ	リンゴ	トウモロコシ	カキ
ブドウ	ジャガイモ	カボチャ	モモ
ネギ	イチゴ	ニンジン	アズキ
ダイズ	牧草	シタケ	など

何故ニホンザルが来るの？

☆ ニホンザルは集落(畑など)を餌場と思っている。
『畑で食べることが、サルの生活になっている』

☆ 被害は、餌付けと同じ(畑で動物が餌にありつければそれが餌付け)
『誰も怒らない餌を放置していることが餌付け、集落は餌場じゃない』

守れる集落・守れる畑へ

其の1『サルを餌付けしない』

- ・ 廃棄果樹や野菜くずは農地に捨てない
- ・ 放置果樹(柿、栗など)収穫できれば伐採

其の2『畑に近寄らせない』

- ・ サルが発見されやく、落ち着けない集落へ(緩衝帯整備により見通しよをくする。)
- ・ 電気柵や防護柵による、サルの侵入防止

其の3『畑や集落を怖い場所と教える』

- ・ 追払いを行い、人を怖いと思わせる
- ・ 電気柵を設置しても、追払いは継続すること

…サルが嫌な環境を作ろう

隠れて農地に近づけない一犬敵である人に追いかけられる一簡単に農作物に近づけない一廃果、被害作物が耕地にない